



CENTER for Wind Energy Phase-II



～風力発電の中心地を目指して 人と産業を創るプロジェクト～

本事業では、いわき市、商工会議所、いわき産学官ネットワーク協会、福島高専、地元企業などの方々と連携し、実施しています。ここに皆様のご協力に対して謝意を表します。Phase-IIもよろしくお願いします。

事業概要

福島県では、福島第一原子力発電所事故を受け、再生可能エネルギー推進ビジョンを策定し、2040年を目途に、県内の一次エネルギー需要を100%再生可能エネルギーで賄うことを宣言。いわき市では、県内に大量導入が期待される風力発電機の部品の多様性やメンテナンスの必要性など産業の裾野が広いことに着目し、風力発電産業による新産業を創出し、原子力災害により失われた浜通り地域等の産業基盤や雇用の創出を図る取り組みを進めている。

本事業では、東大先端研が有する知見やネットワークを活用し、市内産業界と連携し、市内企業の知識・技術力向上に向けた支援を行い、先進技術による風力産業基盤を築くとともに、市内高等教育機関と連携し、市内風力産業界を支える将来人材の育成に取り組んでいる。**<これまでの成果：①風力業界への就職者の輩出 ②共同研究への進展>**

なぜ、風力発電産業をいわき市の新たな基幹産業に？

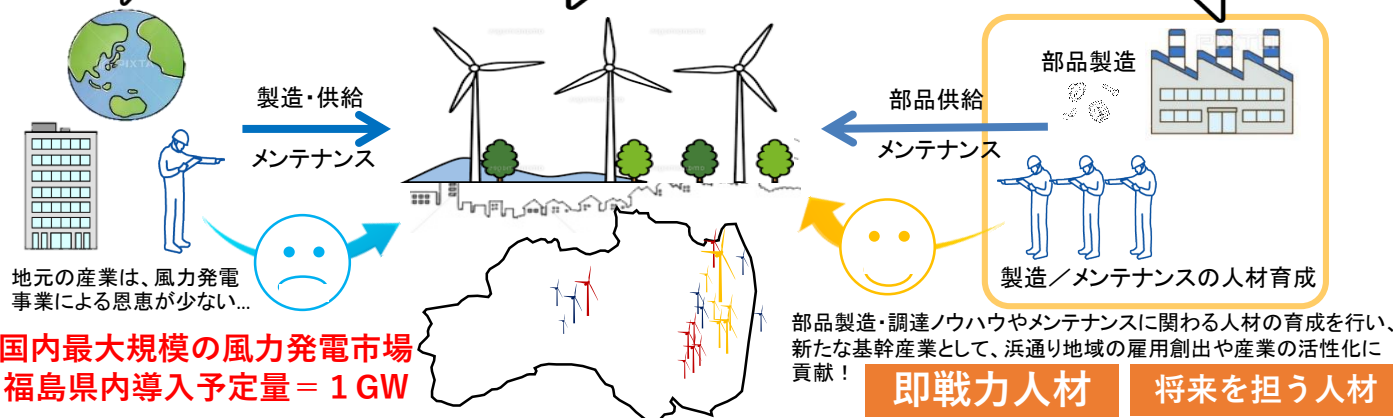
これまでと現状

- ・日本にある風車の70%近くが海外製
- ・修理部品の調達、トラブルシューティングやメンテナンスが、国外なので対応に時間がかかる

- ・風力発電所の建設まで(約10年)と、運用後の運用、メンテナンス(約20年)の費用はほぼ同じくらい
- ・故障・事故などトラブル対策は稼働率の維持に不可欠

先端研といわき市が考えるこれから

- ・いわき市には復興を支えてきた製造業をはじめとする多くの企業がある
- ・風力発電機は部品点数が多く、原発やプラントメンテの技術が応用可能
- ・メンテナンス人材の育成で産業を活性化



取組内容

I 産業基盤人材の育成

地域企業として、風力発電産業への参入に必要な知識や技術力を習得するとともに、持続可能な社会の実現のために、自分達が何をすべきか、必要な考え方や実践手法などを自ら考える機会を創出。

- ①持続可能な未来社会会議 ②風力技術研究会

①持続可能な未来社会会議の開催

新産業創出に向けた意識醸成や基礎的体力の向上に向け、産業課題や必要な人材の育成など、様々な地域課題について、地域自らが考えるためのワークショップを開催し、より実践的な解決策を模索する。



②技術研究会の開催

風力発電産業には、土木、建設、運輸、O&Mなど多くの産業分野が関わるが、参入フェーズや必要な技術力などに違いがあることから、それぞれのフェーズごとの部会を設置し、知識習得、マイルストーンの明確化、技術力獲得に向けた研究会を開催する。



II 将来を担う風力高度人材の育成

福島高専と連携し、風力発電産業界を支え、牽引していく風力高度人材を育成するため、学年に応じた段階的な教育プログラムを実施。

- ①基礎的学習 ②企業見学ツアー ③体験型学習プログラム ④風力関連講義

①基礎的学習【3年生】

3年生を対象に後期授業の一コマで風力発電関連の授業を実施。

②企業見学ツアー【3年生】

日時：令和元年11月29日(金)
対象：電気電子工学科3年生 約40名
場所：滝根小白井WF&FREA



③体験型学習インターンシッププログラム【4年生】

日時：令和元年8月18日～24日
対象：電気電子工学科4年生約10名
場所：株式会社北拓北九州支店

実践型先端技術人材を育成



④風力関連講義【専攻科1年生】

後期授業の中で2コマの講義を実施。